



にゅうあねたあ 104号

2008年01月



トロント新移住者協会

NEW JAPANESE CANADIAN ASSOCIATION c/o JCCC, 6 GARAMOND COURT, TORONTO, ONTARIO, CANADA M3C 1Z5

ごあいさつ 会長 長石芳尚

皆様、新年明けましておめでとうございます。



皆様のクリスマス、お正月は如何でしたか？昨年来トロントは久しぶりに雪の多い冬を迎えたようですがどうか皆様、風邪や雪道の運転、凍った道路の歩行にはくれぐれもお気をつけて下さい。そして、皆様にとって、本年も幸多き1年となりますように願っております。

トロント新移住者協会がその創立30周年を迎えたのが昨日の事のように思えますが、昨年のBBQパーティーを以ってその記念行事を全て終了しました。我々が其の創設以来活動拠点としてきた日系文化会館は宮々と続けてきた改築工事の最後となる第3期工事を3月には完了する予定だとの事です。

私たちトロント新移住者協会の執行部一同、大先輩の市協一世部が其の60年の活動を昨年停止するに至ったのを目の前に見て、益々今後の活動継続に其の努力を傾注するの必要を強く感じ、後継者の発掘、若い家族を活動に勧誘する努力をさらに続けなければと思っております。幸い、協会には日本語学校が3校、ファミリー・トークス・フォーラムがあります。これらの日本語と日本文化をその拠り所とする若いグループから今後のトロント新移住者協会を担う人材が続々と出てくる時が必ず来ると思い楽しみにしています。何らかの形で協会に関わっている皆さん、周りを見回して、この人ならと思う人がいないでしょうか？

創立30周年を後にしたトロント新移住者協会は次世代を今築き始めなければなりません。来るべき30年がトロント新移住者協会、トロント日系社会、トロント市民社会がさらにお互いの存在価値を認め合えるものとなることを切に願うものです。

我が祖国の文化、諸々の規範が怪しくなって来つつある昨今を見るにつけても、何とかこのトロントには誇るに足る日本文化を皆さんと共に保存し、育てられたらと思います。その過程でトロント新移住者協会が常に何らかの価値ある貢献を続けられる組織でありたいものです。

子供の頃の正月



三枝与一

正月の準備は12月の中旬から、大掃除、門松、しめ縄作りから始まり、餅つき、年末の最後の買い物も終わり新年を迎えることが何時もの慣わしだった。

大掃除の日には冬休みに入った子供たちも畳を上げたあとの古新聞を新しいものと交換したり、すす払いなどを手伝った。庭では焚き火があり焼き芋を食べるのが楽しみだった。門松やしめ縄作りは父の仕事で、幣束、紙紬作りは子供たちに教えてくれたが難しく身に付かなかった。三枝家(16人家族)の餅つきは約束事があり、台所の土間に藁を敷きその上に直径70センチ位の樗作りの臼を据える。1升入りの蒸籠を2段重ねて餅米を蒸し、下段の蒸籠から蒸し上がった餅米を臼に移し先ず三人の男がそれぞれ持った付き棒で餅米をこねる、適当な粘り気が出た所で、男たちは付き棒を小ぶりの杵に持ち替え、ヨォ！ヨォ！とリズムを取りながら順番に付き棒の速度を上げて行く、この様子を子供たちは一心に興味深く見物した。

臼の中の餅米が餅になった頃合を見計らって「こねとり」がストップをかける、その後は家長が大きい杵で仕上げの餅をつき上がった最初の餅はお供え用、次は雑煮用の伸し餅、最後の3升くらいは海苔、豆、蓬などを付き込んで「かきもち」用にと、1表の餅米を1日かかりでつき上げていた。翌日に半乾燥した伸し餅を、大根で包丁の刃に湿り気を付けながら手が痛くなるまで矩形に切り揃えた。三枝家の雑煮は今も四角形で最初から煮込んで仕上っている。

元旦には新しい下着、足袋、洋服に着替え朝食の膳に付いた。その朝食は家長1人の料理で、女性たちは家事一切が免除の日でもあったが大晦日に母が下拵えをした料理に火を入れて暖め御節と一緒に膳に並べるだけの様だった。

元旦から三日は醤油味の煮込み雑煮で3日後から7日までは菜雑煮だった。7日目の朝食は流石に皆、雑煮の顔を見るのも嫌だといって、ご飯を食べた。

当時の三枝家の台所には何時も米俵が積んであり、竈は横に五つ並んでいて、鍋、釜は全て1升焚きの出来る大きいもので、米櫃も子供が入れるようなサイズだった。当時の男の子は初詣の後には面子、ビー球、風揚げ、独楽回し等で1日中遊びまわり夕方には新品の足袋も泥だらけになっていた。今の三枝家は親子3人家族の小家族となり、台所も全て電化され、古き良き昔の面影は既に遠い過去のものになった。

「聞きかじり」 # 1

ハリー川邊

先日、今年最後の理事会があり、その際、にゅうすれたあ編集長の森貞氏、三枝氏などと、にゅうすれたあに載せる原稿の話をしました。その折、日本全国のお雑煮の味、作り方が全て違うという話がありましたので、お雑煮について聞きかじったことを書いてみましょう。

元々雑煮は年神様に供えた餅(お供え) 神棚からおろし、それを野菜や鶏肉、あるいは魚介などで煮込んだものを「雑煮餅」といったそうです。雑煮は本来はお正月のものではなく室町時代頃に儀礼的な酒宴で出されたのに端を発するらしい。雑煮を食べることによって胃の状態を安定させてから酒宴に移るための云わば前菜だったものが、その後、正月料理になったといえます。雑煮は地域により料理方法にそれぞれ特徴があります。

関西地方では白味噌仕立ての雑煮、関東では醤油仕立てやおすましが通常で、中に入れるお餅の形も関西は丸餅、関東は切り餅(のし餅、角餅ともいう)が一般的だそうです。また御餅をそのまま入れて煮込むものとか焼いてから入れて煮込むもの、焼いた餅を椀に入れ、その上から汁をかけるものとか、調理方法も丸々々々によってそれぞれ異なるそうです。ちなみに、関西で丸餅を使うのは、年神様にそなえる鏡餅をかたどっているためと言われます。

飯倉晴武著「日本人のしきたり」より

IKEBATA
NURSERY SCHOOL
TORONTO CANADA

オンタリオ州認可保育園

TEL: 416-510-1441

トロント日系文化会館内

www.ikebatanursery.com

日本語&英語プログラム

- ・18カ月～6歳前後(年齢別クラス)
- ・プログラム時間: 8:30am～4:00pm (時間外保育: 7:45am～6:00pm)
- ・日本とカナダの経験豊富な幼児教育資格保持者による指導
- ・少人数グループでの日本語・英語レッスン時間あり
- ・毎月の行事やお料理保育、遠足、発表会など豊富なプログラム内容
- ・給食、おやつ込み 兄弟・姉妹割引あり

ナーサリーにてJACE

移動図書館が始まりました!

当園児以外の方でもご利用いただけます。



ボランティアスタッフ募集中

詳細は当ホームページをご覧ください

「書初め」について



浮舟の会（書道グループ）主宰 上中李舟

歳を重ねるにつれて、時の流れが加速度的に速くなっていくように感じます。NJCAの傘下加盟団体として浮舟の会を加えていたゞいたのはついこの間のこのように思えますが、今年で7年目を迎えてしまいました。入会以来、お正月会で書初めコーナーを担当させていたゞいていますが、子年を以て6回目ということになりました。3歳位の幼児から米寿を越された方まで、又、永年お習字を学んでいる人、生まれて初めて毛筆を握る人、そして日本語を全く知らないカナダ人と、幅広い層にわたって毎年参加者も増えている人気行事のひとつです。

書初めとは「吉祥事始め」として日本では昔から行われている行事で、正月二日になされるものであります。この書初めを私は一般の皆様にもおすすゝめ致します。「生きてきた年月のあかし」を残すという意味で。2008年という年は二度と戻っては来ません。その新春に書初めをして、この年の平穩を祈り、前進を希うという心構えで、老若男女を問わず書初めをしていただきたいのです。

上手、下手は二の次です。書は形ではなく心なのですから。出来ることなら正月二日の午前中に硯をよく洗い（去年の垢をおとすつもりで）若水を硯に注ぎ、心静かに墨を擦ります。自分の目標としたいこと、好きな詩句、成句など選んだ字句を、大きい紙（画仙紙等）に、たっぷりと墨を含ませた筆で書いてみましょう。書き直しをしないで、一回本番で元氣よく書きます。そしてそれを（日本では神棚の下に）然るべき適当な場所にはって鑑賞します。

この様な行事を行うことが大事なのであって、字の上手下手はどうでもよいのです。パパもママもお兄ちゃんも私もというように、一家揃って書いてみたらいかがでしょうか。きっと、よい新年の出発になると思います。

この書初めを一月十四日の左義長（ドンド焼）に松飾りやお札など一緒に燃えさかる火の中に投げ入れ、その灰が高くまい上ると字が上達すると言われていました。しかし、私は、燃やしてしまわずに、余白にその年の年号を書き入れて保管しておくことをお勧めいたします。今年初の作品として…。七歳の私の孫も二歳の時から私の横で書初めをして来ました。ペーパータオルに書いたものを裏打ちしてやったものが五枚溜りました。一年にたった一枚しか日本語を書かなかった子が、2007年の九月から自発的に書道教室で習字を始めるようになり、たった3～5個のかな文字ですが、毎週、自分で選んだ言葉を一つづゝ書き覚えてくれています。

還暦をとくに過ぎた私も、書道に打ち込むようになった十年程前から、毎年、書初めをやり、捨てずにとってあります。日々の進歩が見えない地味な書の道ですが、書初めを並べてみると一年毎の成果がよく見えて、よい励みとなっております。同時に、コツコツと続けるということの大事さを教えます。

書初めをしたくとも、何らかの理由で出来ない人にも、1月27日のNJCAのお正月会は、又とないチャンス、是非々々、お試しになって下さい。

「ふるさとが好き」

中山あつ子



日本を離れているせいか、この「ふるさと」という言葉がみょうに好きになった私です。トロントに移り住んだ当初は、ホームシックになってシクシク泣いていました。ラジオから「上をむ～いてあ～るこうおお、涙がこぼれないよう～に…」なんて流れてきたら、もう、歌のように上を向くなんてできるはずもなく…。厳冬の1月に来た私は、南国から北国へ来たと言う思いと何と遠くへ来たもんだ、という思いが交差して辛かったのを思い出します。

ふるさとからは手紙がたくさん届きました。PCなんて夢のまた夢の時代でしたから、私もセッセッセと書き送ったものです。人生の中でその時代が一番、手紙を書いた時代ではなかったかと思うくらいです。叔母から「梅が咲いたよ。」って押し花が送られてきました。「あ～あ、ふるすとは梅の時期か。」と思いつつ、今でもそれらは大切にセピア色のアルバムの中に眠っています。

最初の帰国の時に母が言いました。「もっと手紙を書きたいのだけれど、住所を書くのがねえ…。」私は、ブルーと赤の線の入った封筒に10枚ほど、私宛の住所を書いて母に渡したのでした。

あれから歳月は流れ、今では手紙よりも声の便りの電話の方が多くなりました。

夜、就寝前に夜空を眺める習慣の母。今夜も眺めて床につくのかなあ。

88歳の母は、母であると同時に「ふるさと」でもあるのです。だから、「ふるさと」が好き！

そして、実家の老いた梅の木も母に負けじと元氣に花を咲かせました。 ※写真参照

どらリスの努力

長石芳尚



昨年の夏、裏庭に真っ黒な余り可愛くも無いリスがうろちよろしていることに気付いたのも束の間、ある日メープルに巣を構えていることにも気付いた。葉が茂っているために何時の間にか作業をしたのか全くの早業だ。時々スカンクやラクーンが出没する裏庭にリスまで住み付かれては追々うるさいことになるのは必定と折を見てこのリスの住処は何れ取り除かなければならいとその方法を考えていた。

ところが、今年の秋のある日、妻の紗永子が言うには、「今日、うちのリスちゃんがとても頑張って、家の修理をしていた。」と言うのだ。訊いて見ると、リス君木の根元に落ちた葉を手で拾っては口に運び、次々に運び口いっぱい詰め込むとヒョイヒョイと枝を駆け上り巣に達するや、口にくわえた葉を次々に巣のあちこちにグイグイと突っ込んでいたのだそう。

僕にとっては可愛くも無いどらリス君この作業を何回も繰り返したそう。僕が巣を取り除くと言っていたことにかわいそうだから「そっとしておいてやって」と。そして其の数日後、僕自身が憎らしいどらリス君の活躍振りを見ることになった。全く上手に落ち葉を何枚も口に押し込むや尻尾をピョイピョイ振りながら枝を駆け上がりながら一気に登るでもなく、チョイト横にそれたりしながら結局巣にたどり着くや既に出来上がったかに見える巣のあちこちに突っ込んで行く。上ったり下ったりまったくご苦労さんである。まあしばらく彼の家の取り壊しは保留してやろうと思いついたのであった。

OPEN:10a.m.TO 7p.m.(SUN:11a.m.TO 6p.m.)CLOSED:TUESDAY
730 QUEEN ST. W. TORONTO M6J 1E8 TEL. 416.703.4550 FAX. 416.703.8593

JAPANESE FOODS & GIFT SHOP
SANKO
http://www.toronto-sanko.com

日本食料品
みそ・しょうゆ各種
新鮮野菜
冷凍魚各種
スキヤキ肉
数の子昆布
いくら・とびこ
塩鮭切身
冷凍えんどう
和菓子各種
オーガニック緑茶

さくら米
炊飯器
和食つつみ多様
新刊雑誌・古本
MAXELL/バッテリー
ペンデルペン
テレホンカード
ビデオレンタル
元氣の源 元氣ドリンク
他 たくさん!!

書籍は航空便で直輸入
定期購読受付中!

おにぎり
お弁当 (週末) あります
活気のある人求む
土日働ける方募集中!

日本送りのギフトがあります

カナダへ来て以来歯医者は一ひとりしか知らなかった。ドクターキング。007の映画に出ても恥ずかしくない名前だ。スコットランド人で、アシスタントの奥さんメリーとの家族経営歯科医院だった。

僕の口の中は彼の所有物で、行くたびに楽しそうに「今度はこれを治そう」。お陰で長い間歯の痛みというものを知らなかった。料金はオンタリオ州の歯科料金ガイドに忠実で、会社の保険は料金ガイドを100%カバーするので、料金を一銭も払ったことがなかった。治療中は話し相手がいないから、彼はひとりりでしゃべっていた。30数年、3人の娘の卒業、就職、結婚、孫誕生、と彼の家庭事情は時にはメリーさんによりも知っていたかも知れない。

そしてある日、恐れていたことがやって来た。「おれはリタイアする」

新しく紹介してくれた歯科クリニックは複数の歯医者とは何人もテクニシャンがいた。忙しく働く彼らは皆若い。静かなシニアホームから賑やかな小学校へ来た気分だった。

紹介されたと言ってもクリニックにとっては僕は新しい患者だ。何枚もの用紙に自分の生い立ちから知能指数まで（それはなかったか）すべて暴露させられる。ちゃんと料金ガイドの料金しか請求しないクリニックを紹介してくれたところにドクターキングの誠実さがうかがわれた。

クリニックで女性の歯医者にあたるのと丁寧だが時間がかかる。これで儲かるのかしらと気になったが、男性の歯医者とは物凄い勢いでやって、あとはテクニシャンに任せて次の患者へ行ってしまった。なるほど…。

で、いきなり12枚もX線写真を撮った。12枚もの放射線ですよ。これでは原子力発電所にいたほうが安全だ。そしてオフィスに呼ばれ、X線写真の黒い点を指しては、あれを治す、これも治す、と言う。あれは歯にはさまった黒ゴマではないですか、などと言う勇氣はとっくにない。

まずルートカナルの古いやつを再び治した。2日目からひどい痛み。「ああ、ばい菌に感染したか、抗生物質を飲めば良い」。やぶ医者め（男性の歯医者）。

次は別のルートカナル。これは腐ったのが上顎の骨に移っているので歯茎を切開して骨を削る、と言う。このやぶ歯医者ではそれは無理だ、と叫ぶ前にスペシャリストの予約を取ってくれたので、ああ、そうか、とほっとした。

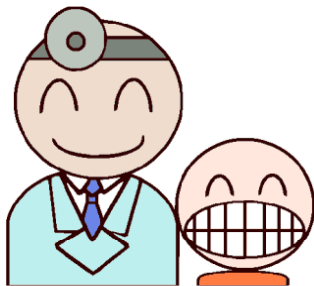
予約は朝一番の8時にしてもらった。僕は昔から嫌いな食べ物最初食べ、嫌なことはすぐにやってしまう。新移住者協会理事会の議事録がその晩のうちにすぐ出てくるのも、世の中、あれほど嫌なことはないからだ。手術などは、1日中これから起こることに思い悩むよりは、朝一番にやっちゃって1日中痛みを苦しんだほうが良い。

スペシャリストのナースが誇らしげに保証してくれた通り、スペシャリストの包丁さばきは素晴らしく、1日アイスパックをあてていたら痛みは引いてしまった。僕の若さのせいで回復も早く、1週間後には糸を抜き、その週の新移住者協会夕食会では弁当を2つ食べられるくらい勢いだった（ひとつにしておいた）。骨折が治ると同様に、削った骨はまた増殖して元に戻るのだそつだ。人間とは素晴らしい。しかし、あの骨をゴリゴリ削る感覚だけはもうご免だね。

こうして見ると、昔の人は歯に苦労したことだろうと思う。南アフリカのボーア戦争で英国軍が苦戦したのも、駐屯兵士達の歯がひどい状態で食べられず、戦力の低下が原因だった、と読んだことがある。エジプトのミイラはどれも歯はひどい。歯を磨く、などという習慣がなかったらしい。食べる度にひどい苦痛だったはず、と言う。

昔NHKの子供の歌があった。「昔の偉い王女でもアイスクリームは食べられない、アイスクリーム、アイスクリーム・・・」

そう、僕も、昔の偉い若様よりは、歯医者さんがいてアイスクリームが食べられる、今の平凡な庶民がいいな・・・。（偉くなれなかった負け惜しみと取るのなら、ご勝手に）



昨年の締め切りに間に合わなかったので、原稿にするのを保留していました。

年末でばたばたして十分（じゅうぶん）な時間が...と言い訳を。というところでこの年になるまでずっと気がつかなかった「十」の読み方について書いてみました。

まず、「十」を使った熟語の羅列から... 振り仮名を打っててください。

十本、十冊、十戒、十手、十種、十回、十階、十進法、十点、十層、十艘、十羽、十時十分、五十歩百歩 等々、きりがないのでこのあたりで、どれもなんと（じっ x x）と振り仮名を振るのを知ってましたあ！（じゅっ x x）と振らないんですよ。

そもそも事の始まりはというと何と少学1年生の子供を持つ親の方から、子供のテストで「十分」の振り仮名をやはり「じゅっぶん」と教えたところ間違っていたという話を聞いたところから。それまでは私めもずっと（じゅっ x x）と振っていたのですが、国語辞典や電子辞書を引いてみると何とどれも十に続く語が力行、サ行、タ行、パ行の場合は、「じっ x x」となっているんですね。

GOOGLEに至っては、「十の読み方」で検索すると、何百という人がいろんな見解を、全部読んでいたら冬休みの貴重な時間を全部これに使ってしまいそう。

中には私のように「じゅっ x x」なんて振ってまたそのように発音している人に対して、「教養の無い人たちは...」なんて、極めつけの悪例を挙げて非難する人もいる始末（が～ん！）。その人曰く、NHKのアナウンサーでもきちんとした人は「二十世紀」も（にじゅっせいき）と言っていると、ええ～っ昨日見た日本の番組のコマーシャル（どこの会社か忘れた）の中では、はっきりと（にじゅっせいき）と発音しているのに... なんて一人でぶつぶつ。

ともあれ、日本語の振り仮名の表記法を何とか発音どりに表記するようにしてほしいものです。特にこちらで日本語を教える立場にある人たちはどうされているのでしょうか？

文部科学省に働きかけてもっと実用的な日本語にしてほしいものです。

そうでないと、日本語の多い同音異義語がますます混乱してくるようで、英語の発音にも困っているのに、本家の日本語までも困ってしまいます。（じっ x x）なんて発音で言葉を聞いた日には、「十」は思いうかばず「実」などの他の漢字のほうの熟語が思い浮んでしまいます。

十店、十点などは実店、実点に、十進法は地震法に、五十歩は何かオイルライターの会社の名前のよう、十分などは実糞？あれれちょっと文章が臭ってきたのでこのへんで...

みついし商店・サンダウンマーケット

日本送り用ギフト
承っております **日本食品**

ビデオレンタル・雑貨

●スカーポロ店

日～水 10:00～18:00
木・金 10:00～19:00
土 9:00～18:00

サンタース
ペリー
自然化粧品
取扱店

4385 Sheppard Avenue E., Pearl Plaza内, Unit 15,
Scarborough, ON, M1S 1T9 (Brimley & Sheppard)
☎(416)496-9083/FAX(416)496-9084

●エトビコー店

日～水 10:00～18:00
木・金 10:00～19:00
土 9:00～18:00

826 Browns Line, Etobicoke Ontario M8W 3W9
(Evans Ave. & Browns Line)
☎(416)251-7900 / (416)259-8260

高度なバイリンガル話者を育てるために

鈴木美知子



1. 幼稚園時代（4-5歳）

いよいよ家庭という港から社会へこぎ出すとき。自分の気持ちもかなり上手に表現できるようになり、「自分で、自分で」という第一反抗期も終息に向かう。脳の発達、ますます加速され、継承語の木の本葉が勢い良く伸びはじめるときである。母語をしっかり固めたい時なので、現地の言葉は現地校幼稚園にお任せし、現地語の豊かな発達の為にも母語をしっかり育てたい。

現地校幼稚園が始まると、園のある時間いっぱい子どもはどっぷりと現地語に漬かり、すごい勢いで第二のこばを吸収し始めるので、家に帰っても切り替えが滑らかに出来ないことがままあるので要注意。

1) 日本語学校の意義

- A) カリキュラム（教育課程）に添って日本語を育てる
- I) アイデンティティーを共有できるたくさんの仲間が得られる

2) この時期にだいじな親の姿勢

- A) 心得③ ことばの使い分けの徹底
現地語の発達は大変気がかりであるが、親は日本語でという姿勢を崩さず、心してことばを混ぜて使わないこと。
- I) 心得⑧ 子どもの心を大切に、ことば遣いに気をつける
子どもは親の背を見て育つものである。親が、日本語の大切さ、重要さを生活の中で行動を通して示し、現地校のことば（英語）と同じに大切だということを会得させる。
- ウ) 日本語嫌いにしない
この時期に、子どもを日本語大好き人間にさせられるか否かで、その後の日本語習得の成果は大きく分かれる。
- I) 子どもの言葉を先取りせずじゅっくりと聞き、終わりまで話させること
幼児は何か言いたいと思ったときに、そのことばをじゅっくり聞いてくれる人や、言ったことが間違っていれば、それをなぜ使ってはいけないのか、納得できるよう説明してくれる人を必要とする
- ウ) 読み聞かせを大切に
「子どもは、本格的な学校教育に入る前に、教科書の内容の10倍も20倍もの分量を耳から聞く経験が必要である」といわれている。

3) 日本語学校の宿題のさせ方

- A) 最初から「日本語の勉強は自分の勉強である」ことを自覚させる。
日本語学校の宿題は答えを書くことのみでなく、親子の日本語での対話の仲介としての意味が大きい。
- I) 親は継承語を育てていることを自覚し、読み書きにかたよらないこと
この時代はまだ脳と手の供給能力が十分に発達していないので、字の上手下手をうるさく言わないこと
- ウ) 宿題は毎日取り組ませ、机に向かう時間は、一度に10分を限度とする

子どもは、体験を通してことばを学んでいくのであり、自分で使ってみて、はじめて自分のことばになるのである。

心得⑦ 最大限にほめ、最小限に叱ることをいつも心に留め、ほめ、励ましながら耳と口を使っての言語訓練がおろそかにならないよう、生活の中でじゅうぶんに宿題の内容を咀嚼させる。

4) 特にこの時期に気を付けたいこと

- ① 子どもに毎日の生活の中で日本語が話せる喜び、日本語が読み書きできる楽しさをたくさん体験させ、自分から進んで日本語に親しめるよう、環境作りに気を配る

- ② 文章に触れる喜びを育てる
文章を介して十分に想像の世界に遊ぶことは、逞しい創造力を育む土台である。幼いときから智能を発達させるための食事として、毎日欠かさず本に親しませる習慣を幼い時から定着させたい
◎ 文字が読めるようになったことと、文章が理解できたことは、同じではない。読み聞かせを大切にすること
- ③ 心得⑨ 子どもは唯一無二の存在であることをわすれない
何かと言うと誰かと比較したくなるもの。でも、「みんなちがって、みんな良い」のである
- ④ お手伝いをさせる
お手伝いは、家族の役に立つ喜びを体験させる大事なチャンスである。
「心得⑩ 目を離さずに手を放し、子どもの言葉に耳を貸し、心を傾ける努力を怠らない」よう気をつけ、手出し、口出しを抑え、一旦任せたら見守ってやる。
◎ 失敗しても決して叱らないこと。また、必ず「ありがとう。」と感謝の一言を忘れずに。

⑤ ストレスを助長させない

現地校、日本語学校と、社会生活が同時に始まるので負担が重すぎ、ストレスからおねしょや指しゃぶりが復活するかもしれないが、温かく見守り、「大きくなったのに恥ずかしくないの」とか、「幼稚園にもなってみともないでしょう」などと小言は絶対に言わないこと。親の小言は子どもの心を萎縮させ、逆効果となる。

Ⅲ お父さんの役割

乳幼児期の育児は、どうしても母親への負担が大きくなりがちである。父親の最大の役目は、母親の育児への不安や苛立ちを暖かく受け止め、理解することであり、その上に立って以下のことを心がけたい。

- 1. 子育てに懸命に取り組む母親を全面的に理解し、良く話し合い、母親の希望に添って支援すること
- 2. 夫婦仲良くすること
いつも助け合っている両親の仲睦まじい姿は、大人の行動を観察しながら、自分の行動パターンを作りつつある子どもにとって大切な手本である。
- 3. 子どもにはお父さんのことばで話し、短くても内容の濃い時間を共有する。抱いたり（お父さんの膝の中は安心の砦です）、背負ったり、肩車をしたり、一緒に遊んだりしながらたくさん話し掛け、子どもの話をじゅっくり聞いてやること
- 4. 昼間の出来事をお母さんから引き継ぎ、必要に応じてきちんと叱ったり、しっかりとカづけ励ましたりすること

Ⅳ まとめ

この時代は、お子さんの全人格や人生観の基礎を造るかけがえの無いとき、家庭の中で出会ったことばを生活文化として吸収して育つ時代です。子どもは、小さくても未熟ではなく、未成熟なのであり、自分育ての手本を求め続けているのです。大人は、大事なこと、正しいことを適時にとらえ、はっきりと分かりやすく、まじめに教えてやらなければなりません。放任も、かまひ過ぎも、ともに子ども的人格育ての妨げになります。

特に、お母さんは、自立に向かって小さな船出を繰り返すお子さんにとって、いつでも帰れる心の港として温かく穏やかであってほしいものです。

大樹に育つ可能性を秘めているお子さんの家庭における日英バイリンガル育ては、教え込むのではなく、豊かなことばかけをしながら、学習者が自ら求めて見習うチャンス、経験するチャンスを与えられるよう気を付け、知恵袋に納められる根っここのことばを豊かに育ててやりたいものです。

この時期のすごさせかたは、お子さんの一生を左右しかねません。お子さんにとって、いつも「あこがれの大人」であってください。

お子さんは、世界にただ一人の人格です。誰と比較するのでもなく、その成長を見つめ、成長に合わせてものごとを教え、お子さんと共に豊かな時間を共有できる心のゆとりを持てるよう努力しましょう。

イギリスの詩人ワーズワースは、「子どもは大人の父である」といったそうですが、子どもの姿から忘れていた大切なものをたくさん学び、共有にいそんでください。

詰め込み、押しつけはことば育ての一人歩きになり、日本語嫌いを作ります。継承語は心で育てましょう。

日本語教育プロジェクト2007年度講演会のご案内



あけましておめでとうございます

今年度も少ない予算を最大限に活用して4回の日本語教育勉強会の開催を3名の先生方と日加学園のご協力を得て決定し、昨年「継承日本語講座」は無事に開催しましたが金谷先生の文法講座は豪雪のために中止となり下記のご案内の通り3月23日に延期しました。従って、1月から毎月1回の日本語講演会の開催となります。何れも、日曜日の午後1時から4時間程度を目標にプログラムを組みました。どうぞ、奮ってご参加下さい。

2007年度N J C A日本語教育講演会

- 1) 2008年1月20日(日) 日加学園代表の先生数名
日本文化の理解と日本語指導
朝の会、特別科目、会話クラスが果たす役割について
- 2) 2008年2月03日(日) 小室リー先生
会話・聴解力を育てるアイデアについて
- 3) 2008年3月23日(日) 谷武洋先生
敬語の使い方と教え方
敬語表現を形の上で支えているのは動詞の「ある」と「する」である。
文法的に正しい場面で敬語が使えないことがある。

場 所： 日系文化会館ホサキ・ルーム
時 間： 12:30 PM 受付
01:00 PM 講演会開始(質疑応答、休憩を含む)
04:00 PM 終了予定

新車・中古車・リース・一般修理・钣金塗装・レンタカー(HERTZ)

お車のことはなんでもおまかせ 中古車買い取ります

Don Valley North

Canada's #1
TOYOTA & LEXUS
Dealer Since 1973

横浜トヨペット・グループ
海外拠点・創立32周年

① DON VALLEY NORTH LEXUS TOYOTA 横山
3120 Steeles Ave. East, Markham (905)475-0722 友野
www.dvntoyota.com www.dvnlexus.com

② MARKVILLE TOYOTA
5362 Hwy #7, Markham (905)294-8100 田中
www.markvilletoyota.com

③ LEXUS OF RICHMOND HILL
11552 Yonge Street, Richmond Hill (905)883-8812 坂本
www.lexusrh.com

④ TOYOTA COLLISION REPAIR CENTRE
391 John Street, Thornhill (905)886-0434 山口

BITE THE BULLET

川村敦子

私は十代のいわゆる多感な時期、反論したい時や言い争いの場面になると、感極まるというのか感情が先走ってしまい、言葉が出る前に涙が溢れてきて、いつも言いたい事を言わずじまいで終わってしまいました。それは学校の先生に対しても、家族や友達の前でも同じで、損な性格だなあとつくづく思ったものでした。

あれから30年の月日が流れ、この異国の地で一人で生き残れるくらいですから大分神経が図太くなり、自己主張もかなり出来るようになったのですが、それでも会社の査定や上司と意見が対立したりするとつい感情的になって泣き出しそうになり、“You're so sensitive”と呆れられる始末です。

さて16歳の息子はどうかというと、しっかり私の遺伝子を受け継いで、私と口喧嘩が始まると先に泣き出してしまい、アニメの「フランダースの犬」を見てはボロボロ涙を流し、動物愛護団体の番組が映ると、可愛そうで見居られない、とぼつとテレビを消してしまう始末で、周りから“You're so sensitive”と言われていました。

先日、私よりひとまわり年輩の方にこの話をしたら、彼は彼のお母様が亡くなった時に泣いたのを最後に30年以上涙を流した事が無いというのです。理由を聞いたら「男は泣いちゃいけないと思っているから」という返事が返ってきました。そーんな、男が泣いちゃいけないだなんて！日本語学校に通う息子に意味を聞かれて「目からうろこ」を説明するにはぴったりの例題です。

ふーん、この北米に住んではいても、日本男児は大変なのね、と同情していたら、なんと男女同権が恰も当然のこの地においても似た様な表現があったのです。“Bite the Bullet”がそれで、日本語の「男たるもの、涙を見せるべからず」そのものです。うーん、つくづくオトコって大変ね。

1988年に上映された“Broadcast News”の冒頭のシーンを覚えている方はおりませんか。ホリー・ハンター演じる人気キャスターが寝る前にベッドの上でティッシュの箱を膝に乗せてわんわん声を上げて泣いた後、さあ、明日も頑張るぞ！とにっこり笑う場面です。そうです、泣くと今まで抑えていた悔しさ、悲しさといった張り詰めた感情がリリースされて、泣いた後は気分がすっきりします。ストレスの多い現代社会では勿論のこと、つらい哀しみから立ち直って前に進んで行くにはこの過程が不可欠ですし、月日が悲しみを癒してくれる、というのもこの過程があってこそです。

親子揃って涙もろく、テレビの前に二人並んで「このドラマはフィクションです」と大々的に映し出された番組をおっきな息子と泣きながら見ている時、素直に泣く事の出来る心優しい良い子に育ったなあ、と悲しくもほのほとした幸せな気分にも浸るのです。



追記：この文章を書いているふと思い出したのですが、日本で大学に勤めていた時、職員の子より年上の学生の姿が暫く見えなかったのが、彼が戻って来た時に聞いたら、三浦綾子さんの長編小説「氷点」を読んだらいてもたってもいられなくなり、北海道の流氷を見に行ってきたこと。一人流氷を見ながら男泣きにむせび泣いてきた、というのです。彼の涙が何の涙だったのか、あの時間なかった事が今になって非常に口惜しいのですが、或いは聞かなくて正解だったのかも知れません。「いつか機会があったら是非見てくるといいですよ。」実現しないまま、遠く離れたカナダに来てしまいましたが、かつて彼が訪れた地で実際に流氷を見た時に初めて、彼の流した涙の意味が理解出来るのかも知れません。

You must be awfully tired !

長石芳尚

6週間前(11月6日)にいわゆる腰骨骨折で手術後回復には更なる時間を要するとして、2週間余りにスカボロにあるナーシングホームに付属するリハビリセンターに母は移されたが、会社から近いこともあり、英語が駄目な母に担当者も困っているかとも思ってほぼ毎日顔を出している。2階造りの小ぶりな施設で例のごとく徘徊者の安全を守るためドアに「1, 2, 4, 3, *」と小難しいキー番号を押してからボタンを押さなければ中に入ること外に出ることも出来ない仕掛けになっている。何処にでもベテランは居るもので、最初に訪れた時には僕がもたついていると思ったか、何処かの腑抜けが来たかと思ったのか玄関付近にたむろしている中の目がギョロリとした婦人が自慢げに中からこの複雑な安全装置を操作して僕のためにドアを開けてくれた。

以後、僕も問題なく施設を出入りしているが、入り口近くのエレベーターで2階に上がると降りた所はナーシングホーム居住者のダイニング兼娯楽室になっている。ここには色々な人種、文化言語的背景を持つ人達が人生最後の毎日を過すべく3食、3度のティー・タイム付きで暮らしている。母がリハビリに精を出している施設は2階の一番奥にあるため何時もナーシングホームの施設を通り過ぎて行くことになるのだが何時訪れてもたくさんの人々が夫々の居住空間から出ていて、椅子やウィール・チェアに腰掛けて見る。見ると大多数の人は口を開けたり、閉じたりしたまま眠りこけているがご本人が意識している様子は全く無く、其の定位置に変化も見当たらない。色々な背景を持つ人々もこの段階に到達すると正しく皆同じということが僕の感性にしみじみと伝わってくる。だから、「人間は皆、同じなんだなあ。」と納得してくる。

毎日のように前を通るのでどの人が何処にいてどんな様子なのか大体覚えているが、ある日、いつもは口あんぐりで寝ているおじさんが前にいる口あんぐりで眠りこけている同僚に大声で語りかけた一言が「You must be awfully tired !」。

石河省三元市協一世部会長の新移住者協会名誉顧問就任

新移住者協会 12 月理事会は石河省三元市協一世部会長を新移住者協会名誉顧問に迎えることを全会一致で承認しました。広く日系社会へお知らせします。すでにご承知のように市民協会一世部はこの 7 月、主に会員の老齢による活動継続の困難からやむなく解散しました。しかしながら 60 年の長い活動と歴史を持つ組織の突然の消滅ということも難しく、残務整理、外部団体の連絡等の必要から窓口が必要となりました。市協一世部と新移住者協会は、同じ日本語を母国語とする団体として長く交流を続けて来ました。こういう状況の中、市協一世部元会長を新移住者協会名誉顧問として迎え、新移住者協会が、解散した市協一世部の今後の連絡窓口になることは自然の動きと考えました。今後旧市協一世部関係の連絡は新移住者協会へお願いします。

新移住者協会会長 長石芳尚

**歌声喫茶新宿「ともしび」が
ついにカナダ・トロントで歌声ステージ!**

三浦信義

(月刊「ともしび」カナダ訪問 10 月特別号への寄稿記事)

カナダ・トロントで歌声喫茶新宿「ともしび」訪加団とトロント歌声喫茶の会の歌声交歓会が 10 月 13 日と 14 日の 2 日間に渡って盛大に行われました。

とにかく素晴らしかったですね。この気持ちを説明する言葉が見つかりません。新宿の皆さんも感慨は同じと思います。着いた夜のホテルでの夕食会から空港での見送りまで、素晴らしい思い出が沢山残りました。

歌声交歓会では本場新宿「ともしび」のステージがトロントでついに実現。新宿「ともしび」の寺谷さんのリードが新鮮でした。田口さんのアコーディオンの的確な伴奏、やはり歌声にはアコが欲しいと思いました。そして何よりも清水さんの透き通るような歌声が心を通り抜けました。訪加団の皆さんとは初めて会った気がしませんでしたね。歌声の心は繋がっているのだと感じました。

あの時間帯は新宿の皆さんにとっては時差の一番きつい時間帯で心配し、疲れたら休めるようソファも用意しました。でも始まったら皆さん、元気に歌って、最後まで皆さん張り切っていました。とても安心しました。

黒板のリクエストに沿って前奏抜き、時間を惜しんでじゃんじゃん歌う、伴奏団が追いかけるようなトロントのステージも興味があったことと思います。トロント歌声喫茶の会の集いは年に 4 回、集ると歌って歌って、一晩で 60 曲近くも歌うのです。



記念集合写真、カナダのカエデの国旗に皆で寄せ書き、会員手作り持ち寄りの豪華な夕食、海外では一番大きくモダンな日系文化会館内のツアー、記念のケーキカット、キャンドルライトで「今日の日はさようなら」・・・思い出は尽きません。

2 日目の交歓会は、ジェームス松本ご夫妻の心からの歓迎のもてなしに感謝の言葉が見つかりません。北米にひとつしかない限定製造のヤマハのピアノによるジーン・ディノヴィ氏のミニコンサートも素晴らしく、皆、豪華な雰囲気には酔いました。新宿・トロント合同歌声は終わるのが残念でしたね。

新宿「ともしび」の皆さんが荷物になることも気にせずいろいろな記念品やおみやげを持参して下さいました。ありがとう。秋の集いで展示・配分しました。

トロント歌声喫茶の会の登録会員は現在 92 名。集いと集いの間は電子メールフォーラムでいろいろ話し合い情報交換しています。この電子メールフォーラムが今回の歌声交歓会の準備に大きな力を発揮しました。フォーラムを通して一般会員が率先して協力してくれました。会場設定、料理などの持ち寄り、会終了後のホテルへの送迎、受け付けやらビデオ撮影、写真撮影、その他諸々の必要事項はすべて会員の自発的な申し出でした。

トロントの日系社会は他の民族社会と比べると小さく、日本語が母国語の移住者はさらに小さいグループです。そのせいかトロントの移住者は新移住者協会の下に比較的まとまっています。トロント歌声喫茶の会は新移住者協会の加盟団体です。

訪加団の皆さんが我々移住者と交流し、日系社会に触れ、素晴らしい日系文化会館を見たことは、新宿の皆さんにとって興味ある大きな収穫であったと信じます。通常のツアーでは得られないものを新宿の皆さんは持って帰った、と期待しています。

10 月 16 日午後、歌声喫茶新宿「ともしび」訪加団 19 人、トロント空港より無事に元気に名残りを惜しみながら帰国の途に着きました。訪加団はナイアガラでもバスの中でも歌い続けたそうで、抱えきれない程の思い出を持って帰国したことが想像できます。

デリバリーご注文うけたまわります

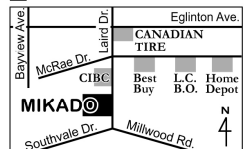
- ◆ 寿司、刺し身、自家製スモークサーモン、定食類、麺類、丼物、種類豊富な一品料理を御用意しております。
- ◆ 御家族連れ用豊部屋有り、各種テイクアウト致します。

個人〜団体様用パーティーールムでございます。

ランチタイム 火〜金 11:30〜2:30
ディナー 火〜木・日 5:00〜10:00
金・土 5:00〜10:30
月曜定休日

日曜も営業!!

■ 当店ホームページ mikadorestaurant.ca を御覧下さい ■



LICENSED
114 LAIRD DR. LEASIDE
駐車場完備
1978年創業
TEL/FAX: 416-421-6016

寿司・割烹



みかど

オーナーシェフ
榊田佳一

日加歌声交歓会

丸木英郎

トロント日系文化会館ヘリテージラウンジには、熱烈歓迎♪ともしび♪と行くカナダ「トロント歌声喫茶の会」との交流の旅ご一行様と書かれた巨大なバナーが貼り出された。

2007年10月13日(土曜)の昼下がり、同会会員が心づくしの料理を持ち寄り、はるばる日本から訪れた一行を迎えた。

顧みれば7年前、トロント歌声喫茶の会発足直後、僕は日本出張の際に立ち寄った新宿にある歌声喫茶「ともしび」で当時の店長、寺谷宏さんにトロントに唄いにいらっしやいと、お誘いしたのが昨日の事のように思い出される。寺谷さんと僕の7年越しの夢が実現した。

今年になって『♪ともしび♪と行くカナダ「トロント歌声喫茶の会」との交流の旅』と題した美しいカラーのパンフレットが届き、僕達受け入れ側でも世話人五人衆(三浦、掛川、色本、中尾と僕)で協議し、三浦さんを主軸に準備会を発足させました。世話人に加え音楽博士の山本勝義さんはじめピアニストの中村さん、ギターリストの岩井さん、ウクレレ奏者の川邊さん、ツアーガイドの志鶴さん、毎年「ともしび」に唄いに行く五味さん、それに今年三回「ともしび」に行かれた斉藤さんが精力的に動き、お膳立ては凡そ出来ました。

ともしび側では二日目にワイナリーでの歌声交流も企画されパンフレットにも印刷、参加者を募集されてました。ところが、志鶴さんが調べた結果、経費と距離の都合でトロント側からの出席が危想され、オンタリオ湖での船上歌声も寒いし、林さんの農場では雨天の場合の不安もあるし、もみじセンターやトロント大学ハートホールでは、前日の日系会館と変わり映えせず、準備会ではお手上げとなりました。

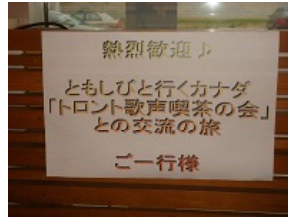
その時、僕の第六感がひらめきました。いつも、トロント猛虎会に会場を提供してくれるジェームス松本氏に話したところ「うちでやりましょう」と申されました。猛虎会のマックス松本会長も親友の世界的ピアニストを連れてくると申され、僕はほっとしました。フランク・シナトラやドリス・デイ等の有名歌手のヒット曲を作曲されたジーン・ディノヴィの演奏が聴けるとは思ってもかけぬアトラクションとなり、今回の目玉となりました。北米に一台しかないヤマハ創立百周年記念に百台限定製造された特製ピアノの鍵盤を叩く世界の巨匠♪まさに夢のひとつとき!

日本国総領事公邸の改装中には邸宅を総領事公邸として日本政府に貸している屋内には大きな池に鯉がたくさん泳いでおり、紅葉の美しいプールサイドの庭園でのランチョンパーティーも、参加者全員の心を和ませ、和気あいあいと盛り上がりました。

この二人の松本氏が暖かい手を差し伸べられなかったら二日目はどうなっていたかと思っただけでも冷汗が出ます。持つべきは良き友人達とあらためて痛感した次第です。これも阪神タイガースの取り持つ縁でしょうか、有難いことです。帰国されたグループも「ともしび」のホームページや掲示板に、ほんとうに夢のようなツアーだったと書き込まれます。

いみじくも、ともしびの寺谷さんが申されたように、僕は単なる「影の仕掛人」に過ぎず、こんな楽しい夢のようなイベントを実現させてくれたのは支援してくださった方々やトロント歌声喫茶の会会員一同の献身的な連帯意識によるものです。

最後に今回のイベントにブラジルからメッセージを下された貞弘昌理さんのメールを記しておきます。JICAのシニアボランティアで、日系老人クラブ連合会に派遣されて、三ヶ月になります。任期は二年、ブラジルにある四十八の老人クラブにレクレーションを指導して回っています。



日加歌声交歓会にブラジルより寄せられた手紙

JICA 貞弘昌理

私の場合は、ギターを持った渡り鳥「小林 旭」です。日本の演歌、唱歌を歌ってもらいます。伴奏していると、みなさん気持ち良く歌ってくれるのが伝わってきて、嬉しいですね。出身は山口県周南市、十年前に「ともしび」に行った昔を思い出し、さっそく歌声喫茶を始めました。ホテルのロビーで偶数月だけですけれどね。ずっと続けます。

カナダでの歌声交流、おめでとうございます。歌は世につれ世は歌につれ、人は歌につれ世界に響く。みんなが手を取り仲良く歌えば、この世は平和云うことなし。カナダでの交流がうまくいきますように、ブラジルから祈っています。こちらまで歌声を響かせてください。老人クラブでの歌声も、そちらまで聞こえるように大声を張り上げます。

ブラジルでもサンパウロでトロントより一年早く「懐メロ合唱の集い」が発足してますが、歌声喫茶のようなロシア民謡や反戦歌のリクエストはなく、小唄勝太郎や東海林太郎の通が多く、新しい歌手でも三橋三智也か三波春男です。日本が戦争に勝ったと信じてるのが軍歌もリクエストされ勇ましく歌ってますよ。

僕の少年時代 (川崎造船、社宅、周辺等)



長石芳尚

僕が小学校5年生の中途まで過した多奈川に何時、川崎造船所が神戸から移って事業を開始したのかは知らない。多分第2次大戦中の疎開工場だったのだろう。果たして従業員が何千人居たのかもわからないが、通称緑ヶ丘と呼称していた川崎造船の社宅は2つの山の両斜面と川の流れる谷あいの平坦部を埋め尽くし、工員、職員、単身者、家族持ち、役職者等に応じて寮、団地、一戸建が緑ヶ丘を区画して配置されていたように思う。毎日のように工場から出たであろう怪我人と数千人を数える家族及び周辺住人の健康を管理する川崎病院は極めて大きかったように記憶する。当時、教室でも前から2番目に席を与えられるほど小柄で、虚弱体質だった僕は年がら年中お世話になっていた。夏には泳いでばかりいて中耳炎には頻繁になっていたし、基本的にはカルシウム不足で飲み薬と注射を欠かしたことはなかった。冬になれば風邪を引かない年はなく、青っ洩をすすり、セーターの袖を白く光らせていたものだし、時には頬も白く青っ洩でコーティングされていたものだ。これは僕に限ったことではなく当時子供であれば誰も彼も冬には青っ洩を垂らしていたものだ。

ところで、川崎造船所とその社宅の町、深日町緑ヶ丘は本来農、漁村だったのだろう。深日小学校の裏山には立派な神社があり、秋には山車が石段を若衆に引かれて走り降りる。国道では漁師が拾数本の細いわら綱に手動の機械を使って振りを加え、数百メートルの太い縄に撚り上げている。この太い縄を何処に使っていたのかは知らないが地引網の引き綱か船を係留する綱だったのではないかと。

こゝろで大阪府泉南郡深日町周辺を記憶を頼りに少し案内してみよう。まず、南海電鉄多奈川線の終点を成すのが多奈川駅で駅の外れには夏になるとアイスキャンディ屋が開店し唯薄甘い白色、レモン味の黄色、イチゴ味の赤色のアイスキャンディを売っていた。小豆味のはなかったと思う。1~2度食べた経験が記憶にあるが父は快く思っていなかったので母が内緒で買ってくれたのである。その駅から南東一帯は僕たちには怖い所とされ、通称「多奈川坊児」即ち「タンガボッコ」を排出する部落民の集落が存在していたらしいが僕は足を踏み入れたことは全く無く詳細も不明である。今も記憶に新しいが、小学5年生の時、転校生が入ってきたのが端正なおかつ頭の都会のにおいを全身に漂わせる小柄で可愛い児だった。彼女はこの恐ろしい多奈川に住んでいたことを知って驚いたことがあった。記憶に残る彼女の雰囲気は今思うにオードリー・ヘップバーンそのものだった。

この多奈川線と平行に走るのが国道で、僕たちが友達と遊びながら学校に向かう時には必ずこの国道を歩いた。時には遊びに夢中になって袋を首から斜めに架ける式のかばんも持たずに学校まで行ってしまったこともあった。この国道は対向一車線に過ぎなかったように思うが、アスファルト舗装はされていたと記憶する。

この電車に乗ることは滅多になく、記憶にあるのは今は多分、岬公園と呼ばれ、当時つつじで有名だった淡ノ輪公園に行く時、和歌山へ行く時、そして神戸へ引越した時、そして忘れもしない5年生の時担任だった粟先生が何を思ったのか、クラスの数人を連れて大阪見物に連れて行ってくれた時位だ。淡ノ輪公園には2度程、先生に連れられて写生大会に学校を代表して参加したが、つつじが満開になる頃はいつも肌寒く、お昼の弁当をつつじの木々の根元に陣取って、寒々と食べた記憶しかなく、大阪に行ったときも人形浄瑠璃を見た記憶があるにはあるが鮮明に残っているのは大阪城の広場で僕が買いたいみやげ物を先生が無駄使いをさせまいと自由に使わせてくれなかったことだ。この一件で僕の大阪見学は腹立たしく惨めなものとなってしまったのだ。

川崎造船の社宅はそれだけで大きな町を形成していた。山を削って造成した宅地が大部分を占めていたせいかわりに山が連なり、下れば川崎造船所の工場が海に面して広大な土地を占拠していた。僕の家の上には矢張り山が迫り其の裾には皆で泳いだ、何時も濁っている池とさらに其の上には山からの湧き水をたたる完璧な透明度を常に保ち魚や川えびの一匹もない小ぶりの池があった。さらに家が埋め尽くす谷あいを挟む向かいの山の奥には大きな湖があったが其の辺りは僕たち小学生には少々畏れ多いところで2度程、川崎造船の主任工員を父親に持つ友人の滝川君の中学生の兄さんと一緒に「いたどり」や赤松に寄生する「宿り木」の赤く色づいた実を採りに連れて行ってもらったとき位なもので青黒く、音もなく広がる水面を遠くまで混える湖に僕は声もなく畏敬の念を覚えたのを思い出す。このように社宅の周辺に広がる大自然は僕たちに無限の遊び場所を与え、同時に自然の持つ無限の驚異を教えてくれたと思う。山に入ると花や実を探して兎に角何でも口に入れてみる、木の幹から流れ出る「やに」でも口に入れ噛んで見るとチュウインガムのごとくになることもあったし、石鹸水に溶かすとシャボン玉が非常に細かくなることも知っていた。誰も彼も冬の最中も半ズボンを履き、靴を履いている子は稀で、大抵下駄かぞうりを履いていた。裸足で通学する子も多かった。

父は大学で造船工学を修めた造船技師で、戦時中は三菱造船等の造船技師と共に潜水艦、航空母艦(大型空母-大鵬の設計は父が主導的な役割を果たしたと後ほど知った)、駆逐艦等の設計に携わり家に帰らないことが多かったように聞いている。多奈川の川崎造船時代には3度ほど進水式に連れて行ってもらった記憶がある。進水式はいつも早朝に行われ飾り付けられた式台からガラス瓶が船台の上に乗る大きな船首にゆっくりと大きな弧を描いてぶつかり砕け散る頃、船台のあちこちに配置された無数の工員が大きな石鹸に乗った船体を止めている滑り止めをポンポンと外すとやがて音もなくこの未完成の船は滑りだして行くのである。パアーツ白い鳩が割れたたくす玉から飛び出してあたりを旋回しつつどこかに飛び去る。当時、進水式が終わると父は其の船の完成した姿の金属製の文鎮を持ち帰ったものだ。

ところで、本格的な船の構築はこの後始まるわけで、進水式で滑り落ちる船は未だ中身も何も無い大きな枠が出来たに過ぎないものなのだ。その後数ヶ月に及ぶ技術と芸術の総合的な作業の結晶として1隻の船が完成するわけで、船主に引き渡される前には厳しい総合的な検査が行われるらしい。この段階が来ると父は設計技師として夜明け前から出勤し、船に乗り込んで各種の走行試験を実施しそれに立会い、設計基準に合格するか否かを確認するのであった。

こんな父も後で母から聞いて知ったのだが、終戦時には一時、会社を辞めて、農業への転業を真剣に考えたことがあったそう、其のせいか、緑ヶ丘の社宅時代も、鶏、ウサギを飼育し、庭にはきゅうり、トマト、インゲン豆、エンドウ豆、大豆、小豆、ゴマ、とうもろこし、かぼちゃ、スイカを所狭しと植えつけてあり、家から10分ほど掛かる山肌を開墾してサツマイモと落花生を栽培していた。此処で採れるサツマイモも落花生も殆ど水もやらずに何とか育つと、小さな物しか出来ない代わり味が非常に良かったように思う。時にはイチゴを作っていた記憶もある。当時、水洗式のトイレは皆無で、父は黙々と休日には寸暇を惜しんで江戸時代にも大役を果たした肥料を天秤棒の両端に桶をぶら下げて山肌の畑まで往復していたことを思い出す。今更ながらだが、ありがたく思う。

今回はこのあたりで置きます・・・。

New Year's Celebration 2008 !!

Community O-Shogatsu Family Get Together



新年の門出を祝おう!

トロント日系コミュニティー

2008年「お正月会」

年月日: 2008年1月27日(日)

時間: 午前11時から午後5時まで

場所: トロント日系文化会館 - 6 Garamond Court at Wynford Dr (416)441-2345, TTC-Eglinton駅とBroadviewを結ぶ100番バスで、ドンバレー高速道路の西側 Garamond Court バス亭

入場料: 大人4ドル (NJCA会員/JCCC会員)、5ドル (非会員) シニア4ドル、子供(12歳以下) 無料

プログラム

お屠蘇無料振る舞い、餅つきデモ・無料振る舞い、獅子舞い、踊り、歌、尺八、琴、子供バレエ、尺八、三味線、古典舞踊、着物ショー、東京音頭・炭坑節を輪になって踊りましょう、おみくじ、福袋、お年玉、書き初め、コマ、福笑い、すごろく、羽根突き、カルタなど各種ゲーム、うどん、タコ焼き、餅、各種食べ物、キャッシュバー、おもちゃなど各種出店

特別プログラム

- もちつきデモンストレーション!
- 先着100人の子供にお年玉
- Family Talks Forum新年親睦会
日本語学校説明会 (11am-12pm)



ボランティア募集

「会場設置」「受け付け」「日本おもちゃ出店」「ゲーム補佐」「獅子舞い」(当日練習します)「福袋・ラッフル販売」「Volunteer 対応」などいろいろ考えられます。「ボランティア」と思わず、皆とお正月会を楽しむと思って来て下さい。(前日までに登録が必要です)

問い合わせ: 長石 416-644-1240

三浦 nobbycosmic@yahoo.co.jp



【編集後記】

編集責任者 森貞一弘

段々と新移住者協会の「にゆうすれたあ」の寄稿者にも新しい旋風が吹き始めてきました。「あまり深く考えないで、何でも、思うこと、好きなこと、自分の言葉で書けば、良いんですよ」というのが僕の方針ですから、実際、多種多様な原稿が集まってきて、嬉しい悲鳴(ため息も時々、ほんの少し...)が、出ています。

新しい年を迎え、編集用のソフトも2007年版にアップデートし、順風満帆。ご意見、あるいは普段の身近な写真や話題など、皆で集めて、楽しくやって行きましょう。

投稿先は→ doit4joy@hotmail.com

新鮮さ味一番!!



オーシャンフードの練り製品をどうぞ!

◎かまぼこ ◎てんぷら ◎さつま揚げ ◎シューマイ

◎竹輪 ◎はんぺん ◎その他練り製品

日本食品店で求めください

OceanFood CO. LTD.

Since 1980

SEAFOOD MANUFACTURER

3 TURBINA AVE, TORONTO, ONT. M1V 5G3

www.oceanfood.ca TEL.(416) 285-6487 FAX.(416) 285-4012